

地域学校協働研修会



令和4年7月28日（木）玉川村たまかわ文化体育館 クラブハウス 参加者32名

講義・演習「子どもが楽しむ、大人も楽しむレクリエーションの実際」 福島県レクリエーション協会 佐藤喜也 氏

- ・ 現代の子どもを取り巻く環境は、昔とは異なってきている。レクリエーションを通して、心とからだの成長に欠かせない“遊び”を子どもたちに体験させたい。
- ・ 子どもの遊びにおける大人の役割は「見守りと介入」である。適切な大人の介入はしっかりと子どもたちを観察し、ほめることから始まる。
- ・ 大人が変わることで、接する子どもたちが変わる。笑顔で接すること、積極的な傾聴を心がけて子どもたちと接してほしい。



参加者の声

- ・ レクリエーションを実際にやってみて、体ひとつでこれだけ楽しむことができるのかと驚きました。
- ・ グループ（集団）に対しての「声かけ」のこつと、自分が動きに慣れることの積み重ねを大事にしていきたいと思いました。

事例紹介「さめがわの『ふるさとキャリア教育』の実践」

鮫川村教育委員会教育課生涯学習係長兼社会教育主事 石井洋平 氏

- ・ “ふるさとキャリア教育”は、「ふるさとを愛し、貢献しようという心を育み、たくましくそして自分らしく生きる力を身につける教育」として推進している。
- ・ 月に1回、学校の地域連携担当教職員、管理職、教育委員会職員などによる定期打合せを行い、授業の反省や翌月の予定について話し合いを行っている。
- ・ 地域コーディネーターは学校の仕組みを理解すること、コーディネーター自身が地域を好きになることが大切である。



参加者の声

- ・ 講師の方の教育を変えたいという情熱が伝わってきた。多くの困難があった中で、キャリア教育を実践しているのがとてもすごいと思いました。非常に参考になる部分が多かったので、これからにつなげていきたいです。
- ・ 教育委員会の仕事とコーディネーターの仕事を兼務され、多忙の中でも地域との繋がりを上手にコーディネートされており、理想的な活動の仕方だと思いました。



からだだけではなく頭も使います



多くの方が参加されました



情報交換の様子

【研修会全体を通して】

- ・ とても参考になる研修で参加してよかったと感じました。
- ・ 今後とも横のつながりを大切に、情報共有し合い、未来を担う地域の子どもたちのために、社会全体で取り組んでいきましょう。
- ・ 他の市町村からの参加者が増えることで、もっと楽しい研修会になるのではないかと思います。